

教科(科目)	産業社会と人間	単位数	2単位	学年(コース)	1年次
使用準教科書	実教出版『実践 産業社会と人間』				
副教材等	なし				

### 1 グラデュエーション及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	<p>～卒業までにこのような資質・能力を育みます～</p> <p>①本校の特色及び取組を生かした高大接続、教育課程の編成、授業改善により基礎学力の向上を図るとともに、さらなるキャリア教育の実践を推進します。</p> <p>②規律ある学校生活の中で基本的な生活習慣を確立し、時代の変化に対応できる能力の向上を図ります。</p> <p>③生徒一人一人の良さや可能性を伸ばし、自立した社会生活を営むことができる力を育てるとともに、生徒の自己実現を図ります。</p>
カリキュラム・ポリシー	<p>～上記の資質・能力を育成するため、このような教育活動を行います～</p> <p>総合学科の本校では多様な科目開設という特徴を生かした教育活動を展開し、「産業社会と人間」を基本として3年間を見通したキャリア教育を充実させます。また、地域と連携した実習や就労体験等、地域の教育資源を活用して教養、人間性及び社会性を育てます。</p> <p>①多様な進路希望に対応する選択科目を設け、資質、能力の育成に相乗的であるように教科等横断的な視点に立った指導であること。</p> <p>②学習の継続性に配慮し、主体的・対話的で深い学びが実践できるような基礎基本を重視した教育課程を編成する。</p> <p>③ICTの活用も含め、生徒個々が自身の進路希望を意識した学習態度の早期醸成と高揚につなげられるものであること。</p> <p>④学校設定科目「キャリア実習」をはじめ、科目の設定にあたり地域産業、地域の人材を生かした授業展開ができること。</p>

### 2 学習目標

<ul style="list-style-type: none"> <li>・職業選択に必要な能力、態度、将来の職業生活に必要な態度やコミュニケーション能力、表現能力を育てる。</li> <li>・生涯にわたって学習に取り組む意欲や態度を培う。</li> <li>・豊かな社会を築くための積極的に寄与する意欲や態度を身に付ける。</li> <li>・産業社会の中における自分自身の在り方、生き方を探求する姿勢を養う。</li> </ul>
--

### 3 指導の重点

<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の主体的・積極的な授業への取り組みを重視する。</li> <li>・ディスカッション学習を通して、思考力・表現能力を養うとともに、社会生活に必要なコミュニケーション能力を養う。</li> <li>・自己理解や職業理解のための体験や見学、講演等を行い、早期に進路選択をする。</li> <li>・進路実現のために主体的に選択科目研究を行い、適確な進路設計を行う。</li> <li>・さまざまな学習形態を通して、社会の実情について知り、自分のすべきことやできることを考える。</li> </ul>
---

### 4 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・勤労、職業の意義を理解し、自己の勤労観、職業観の形成を図っている。</li> <li>・さまざまな学習形態を通して、社会の実情について理解を深めている。</li> <li>・履修計画の作成を通して、系列や科目の目標、学習内容等を理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体験や見学、講演等を通して自己理解や職業理解を深め、早期に進路選択をできている。</li> <li>・進路実現のために主体的に選択科目研究を行い、適確な進路設計を行っている。</li> <li>・ディスカッション学習を通して、論理的思考力が身についている。</li> <li>・職業選択に必要な能力、態度、将来の職業生活に必要な態度やコミュニケーション能力、表現能力が身についている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯にわたって学習に取り組む意欲や態度、豊かな社会を築くための積極的に寄与する意欲や態度が身についている。</li> <li>・産業社会の中における自分自身の在り方、生き方を探求する姿勢が身についている。</li> <li>・主体的・積極的に授業へ取り組んでいる。</li> </ul>

## 5 評価方法

	各観点における評価方法は次のとおりです。		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価方法	以上の観点を踏まえ、 ・ 学習の記録（感想、レポート、自己評価など） ・ 学習活動への取組 ・ 課題の提出 ・ ライフプランの内容 などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・ 学習の記録（感想、レポート、自己評価など） ・ 学習活動への取組 ・ 課題の提出 ・ ライフプランの内容 などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・ 学習活動への取組 ・ 学習の記録（感想、レポート、自己評価など） ・ 授業態度 ・ 出席状況 ・ ライフプランの内容 などから、評価します。
	内容のまとまりごとに、各観点 「A：十分満足できる」、「B：おおむね満足できる」、「C：努力を要する」で評価します。 内容のまとまりごとの評価規準は授業で説明します。		

## 6 学習計画

月	単元教材	授業時数 と領域	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4	学校生活オリエンテーション 産社オリエンテーション（産社とは） ソーシャルスキルトレーニング	6	学校生活全般の説明及び生徒会紹介（手帳・生徒会誌「段丘」配付、行事・委員会・部活動紹介） 「産業社会と人間」教材配布、説明等 円滑な対人関係を構築するスキルの養成	6	学習活動への取組
5	新入生意識啓発講演会 科目選択ガイダンス① 科目選択のためのワークシート	6	進路実現を目指し、充実した高校生活を送れるように意識啓発を促す 全体説明（教育課程「履修の手引き」ブース形式相談会 進路実現を見据えた履修計画	6	学習活動への取組
6	科目選択指導①（個別面談） 科目選択指導②（個別面談） 科目選択指導③（個別面談） 夏季課題説明	6	進路実現を見据えた履修計画の作成 進路実現を見据えた履修計画の作成 履修計画の策定	6	学習活動への取組
7	夏季課題事前学習① 夏季課題事前学習② 進路ガイダンス	6	夏季課題の選択と計画作成 夏季課題の選択と計画作成 職業分野別説明会	6	学習活動への取組
8	夏季課題発表準備①	2	夏季課題の発表物作成について説明	2	学習活動への取組
9	夏季課題発表準備② 夏季課題発表会 フィールドワーク後援会	6	夏季課題の掲示物・発表原稿作成 夏季課題のクラス内発表会 地域産業の理解と地位からの期待	6	学習活動への取組
10	職業人講話 地域の特徴を学ぶ① 地域の特徴を学ぶ②	6	卒業生からの話を聞き、働くことについて知る フィールドワークの指導（班編成） フィールドワークの準備（訪問先調べ）	6	学習活動への取組
11	地域の特徴を学ぶ③ 地域の特徴を学ぶ④ フィールドワーク 地域の特徴を学ぶ⑤ 地域の特徴を学ぶ⑥	8	フィールドワークの準備（訪問先調べ） フィールドワークの事前指導 地域探索を行い、地域を知る フィールドワークの事後学習（まとめ下書き） フィールドワークの事後学習（下書き完成）	8	学習活動への取組

12	地域の特色を学ぶ⑦ 地域の特色を学ぶ⑧ 地域の特色を学ぶ⑨	6	フィールドワークの事後学習（ポスター完成・ 発表原稿作成） フィールドワークの事後学習（発表練習） フィールドワークの事後学習（発表練習）	6	学習活動への取組
1	地域の特色を学ぶ⑩ 地域の課題を考える① 地域の課題を考える② 地域の課題を考える③	8	フィールドワークの内容についての学年発表会 地域を学んだあと、特色について考える 地域の特色を考えたあと、課題となっているものを見つける 地域の課題を共有し、解決策を考える	8	学習活動への取組
2	ライフプラン作成① ライフプラン作成② ライフプラン作成③	6	ライフプランについての説明・指導 ライフプランのプランニング ライフプランの下書き完成	6	学習活動への取組 課題への取組・提出状況
3	ライフプラン発表会（クラス）	2	ライフプランのクラス内発表会	2	課題への取組・提出状況

計70時間（50分授業）

## 7 課題・提出物等

- ・ 履修計画
- ・ 夏季課題
- ・ フィールドワークのまとめ
- ・ ライフプラン

## 8 担当者からの一言

自分の生きている産業社会とはどのような社会であるのかを常に考え、体験や見学、講演によって得られた情報を自己の進路選択に役立ててほしい。そのためには、日々の新聞やニュースに目を向け、社会の動向を把握しておく必要がある。また、「産業社会と人間」は広い分野について考える授業であるため、すべての教科・科目で基礎力を養っていくことが重要である。